

ユニット目標

1	キーワードを基にStory Tellingができる(読むこと-理解)	録音
2	読んだ内容を基に自分の意見を適切に述べる(書くこと+話すこと-表現)	エッセイ+発表(録音)
3	世界問題に関する情報を聞いて自分の考えを適切に述べる(やり取り-表現)	スピーキング・テスト
4	可能な限り忠実に聞いた内容を再現できる(聞くこと-理解)	定期考査
5	英語の1文レベルの構造を理解できる(読むこと:主語・動詞・後置修飾・接続詞-知識・理解)	定期考査

授業時間	主な教材	中心技能	評価	指導内容	時間	形態	プレゼンとの関係
1	Would you be happy if you were forced to work?	導入		仕事は何のため?(アルバイトの意味)			「見つける」 ↓ 自分たちの生活との比較
				1アルバイトに関する質問→キーワード提示	15	全体	
				2「アルバイトの条件」をグループ発表	15	グループ	
			3 仕事に関するlike to/ must (have to) /be forced toの違い	5	全体		
2・3		Listening		アルバイトと児童労働の違い(トップダウン→ボトムアップ)			
				1アルバイトの理由→児童労働の内容・理由・問題点	10	個人	
				2我々がすべきこと→平等の意味	5	個人	
			●	3スクリプト提示(意味確認Q-A)→ディクテーション(dictogloss)→シャドーイング→部分暗唱		個人	
				4アルバイト(未成年が仕事をする条件)エッセイ100語以内		個人	
4・5	Venezuela Jordan Botswana	Reading 1		存在しない子供の現状(トップダウン)			見通す
				1映像→8人の子供たちの様子描写→存在しなくなる原因		個人	
				2子供たちの過去・現在の様子とその原因(読み取り)→口頭説明(英語または日本語)		グループ	
		●	3子供たち(3人)の文書まとめ(英語または日本語) * 原文を見ない		個人		
6		adjustment					
7		Reading 2		存在しない子供の原因(トップダウン→ボトムアップ)			「求める」 ↓ 現状把握
				1①～③読み取り(表の書き込み:スキミング・スキミング)		グループ	
			●	2①③の分析読み:動詞の認識→チャンキング(意味確認)→チャンク読み		グループ	
8	Who are the invisible	Reading 2	●	3意味音読 * 音読を止めて意味確認		グループ	「求める」 ↓ 原因把握
				存在しない子供の現状と原因の詳細(トップダウン⇄ボトムアップ)			
				1④～⑩の話題の認識→児童労働の種類確認		ペア	
				2④～⑩語彙選択読み(理由を確認)		ペア	
				3④⑤クローズ・テスト読み(理由確認)		ペア	
				4⑥⑦⑧の分析読み:動詞の認識→チャンキング(意味確認)→チャンク読み(ペアによるサイトラ)		ペア	
			5⑨単語並び替え		ペア		
11		adjustment					
12・13		Reading 2		6⑩英文並び替え		ペア	
				7⑩誤内容語の指摘→訂正		ペア	
			●	8④～⑩黙読→コンセプトマップ→説明(英語または日本語) * マップのみ使用		グループ	
			●	9④～⑩音読→英文の部分暗唱		グループ	
			●	10児童労働別に口頭説明(録音) * 単語カードのみ使用(10枚以内)		個人	
				* 最優先で改善すべき児童労働を一つ選択し、その具体的解決策を考える(100語以内)→提出		個人	
14	Christina Noble	Reading 3		個人の国際貢献例の考察(トップダウン)			「求める」 ↓ 人から学ぶ
15・16				1フローチャートの完成(5W1H)		個人	
				2語彙選択読み(理由の確認)		グループ	
				3コンセプトマップ作成→日本語による説明 * 1のフローチャートは見ない		グループ	
17			●	4Story telling(録音) * 単語カードのみ使用(10枚以内)		個人	
			●	5「子供の権利条約」日本語訳→正式な日本語訳と比較→暗唱		グループ	
18	Craig Kielburger	Research		インタビューによる情報収集			
19				1Craig Kielburgerに関する基礎情報を読む→質問内容を考える→質問→情報をまとめる(グループ)		グループ	
				2収集した情報を発表または録音		個人	
19・20	Christina Noble Craig Kielburger	Writing ↓ Speaking		人から学ぶ(統語→内容)			「広げる」 ↓ 学んだことを表明
21				1NobleとCraigから学んだこと:ブレンストーミング→原稿→提出		個人	
				2統語の修正→Re-Write→教師確認		個人	
				3回し読み(グループ内)→理解できない箇所に印→Re-Write		グループ	
22			●	4原稿暗唱→絵を使った発表(グループ内)→グループ内の意見の口頭紹介 * 絵と原稿提出		グループ	
				リフレクション・シート(英語技能+テーマ)		個人	「振り返る」
23	ALL Materials	Writing		地球に生きる1人としての自分			「活かす」 ↓ 今後の生き方
				これからの生き方について300～1000語程度のエッセイを作成→冊子作成 * 締切りは期末考査前		個人	

●=評価場面